



システム メッセージの形式

この章では、Cisco IOS システム メッセージの構造およびエラー メッセージ トレースバック レポートについて説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [メッセージの構造 \(p.1-2\)](#)
- [エラー メッセージ トレースバック レポート \(p.1-5\)](#)

メッセージの構造

メッセージに含まれる情報は、次のとおりです。

- ファシリティ コード
- 重大度
- ニーモニック コード
- 記述フィールド

システム エラー メッセージの構造は、次のとおりです。

ファシリティ - 重大度 - ニーモニック : メッセージテキスト

ファシリティ コード

ファシリティ コードは2つ以上の大文字で構成され、メッセージに関連したファシリティを示します。ファシリティにはハードウェア デバイス、プロトコル、またはシステム ソフトウェア モジュールがあります。表 1-1 に、システムのファシリティ コードを示します。

表 1-1 ファシリティ コード

| コード | ファシリティ |
|------------------|---|
| ACL | Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) |
| BUFFERMANAGER | メモリ バッファ管理 |
| CHASSIS | シャーシ |
| COMMONHWACLMAN | 共通ハードウェア ACL 管理 |
| COMMONSTUBMAN | ASIC (特定用途向け IC) 固有のメッセージ |
| DAIMAN | ダイナミック ARP インスペクション (DAI) 管理 |
| DHCP_SNOOPING | DHCP (動的ホスト制御プロトコル) スヌーピング メッセージ |
| DOT1X | 802.1X 関連のポートベース認証 |
| DTP | Dynamic Trunking Protocol (DTP; ダイナミック トランッキング プロトコル) |
| EBM | イーサネットブリッジ管理 |
| EC | EtherChannel |
| GBICMAN | GBIC (ギガビット インターフェイス コンバータ) マネージャ |
| HW | ハードウェア |
| HWACLMAN | ハードウェア ACL 管理 |
| HWL2MAN | レイヤ 2 ハードウェア管理 |
| HWNETHFLOWMAN | NetFlow 管理 |
| HWPORTMAN | ハードウェア ポート管理 |
| IDBMAN | インターフェイス記述子ブロック管理 |
| ILCPROTOCOLERROR | ILC プロトコル |
| IOSACLMAN | Cisco IOS ACL 管理 |
| IOSDHCP Snooping | Cisco IOS DHCP スヌープ管理 |
| IOSIGMP Snooping | Cisco IOS IGMP (インターネット グループ管理プロトコル) スヌープ管理 |

表 1-1 ファシリティコード (続き)

| コード | ファシリティ |
|-------------------------|---|
| IOSINTF | Catalyst 4500 IOS インターフェイスの動作 |
| IOSIPROUTEMAN | Cisco IOS IP ルート管理 |
| IOSL2MAN | Cisco IOS レイヤ 2 管理 |
| IOSMODPORTMAN | Cisco IOS ポート管理 |
| IOSSYS | Catalyst 4500 IOS システム |
| IOSSYSMAN | Catalyst 4500 IOS システム管理 |
| IPROUTEMAN | Catalyst 4500 IOS IP ルーティング管理 |
| L3HWFORWARDING | レイヤ 3 ハードウェア転送 |
| LINECARDMGMTPROTOCOL | Line Card Management Protocol |
| PKTPROCESSING | パケット処理 |
| PM | ポート マネージャ |
| PORTFANOUTASIC4X1000MAN | ポート ファンアウト ASIC 4x1000 管理 |
| PORTFANOUTASIC8X1000HW | ポート ファンアウト ASIC 8x1000 ハードウェア |
| PORTFANOUTASIC8X100MAN | ポート ファンアウト ASIC 8x100 管理 |
| QOS | Quality of Service |
| REDUNDANCY | 冗長スーパーバイザ |
| SERVICECARDMAN | サービス カード管理 |
| SFF8472 | 浮動小数点サブシステム (SFF8472) |
| SPAN TREE | Spanning-Tree Protocol (STP; スパニング ツリー プロトコル) |
| SPAN TREE_VLAN_SW | スパニング ツリー VLAN (仮想 LAN) スイッチ管理 |
| STORM_CONTROL | ブロードキャスト ストーム制御 |
| STORE | メモリ |
| SUPERVISOR | スーパーバイザ |
| SWITCH-QoS-TB | スイッチ QoS 管理 |
| SW_DAI | ダイナミック ARP インスペクション |
| SW-VLAN | スイッチ VLAN 管理 |
| SWITCHINGENGINEMAN | スイッチング エンジン管理 |
| SWITCHMANAGER | スイッチ管理 |
| SWNETFLOWMAN | ソフトウェア NetFlow 管理 |
| SYSMAN | システム管理 |
| TRANSCIEVER | TRANSCEIVER サブシステム |
| UFAS_MCAST_SW | UplinkFast |
| VQPCIENT | VLAN Query Protocol (VQP) クライアント |
| WATCHDOG | ウォッチドッグ タイマー |

重大度

重大度は 0 ～ 7 の 1 桁のコードで、状態の重大度を表します。数字が小さいほど深刻な状況です。表 1-2 に、メッセージの重大度を示します。

表 1-2 メッセージの重大度

| 重大度 | 説明 |
|-----|---------------------------|
| 0 | 緊急 — システムが使用不可能な状態 |
| 1 | アラート — ただちに対応が必要な状態 |
| 2 | クリティカル — クリティカルな状態 |
| 3 | エラー — エラー状態 |
| 4 | 警告 — 警告状態 |
| 5 | 通知 — 正常だが注意を要する状態 |
| 6 | 情報 — 単なる情報メッセージ |
| 7 | デバッグ — デバッグ時に限り表示されるメッセージ |

ニーモニック コード

ニーモニック コードは、エラー メッセージを一意に識別するためのコードです。ニーモニックは例外なく、すべて大文字の文字列です。

メッセージ テキスト

メッセージ テキストはエラー状態を記述した文字列です。メッセージのこの部分には、端末ポート番号、ネットワーク アドレス、またはシステム メモリ アドレス スペースの位置に対応するアドレスなど、イベントの詳細情報が含まれることがあります。この可変フィールドの情報はメッセージごとに異なるので、ここでは角カッコ ([]) で囲んだ短い文字列で示します。たとえば 10 進数は [dec] で表します。表 1-3 に、メッセージの可変フィールドを示します。

表 1-3 メッセージの可変フィールドの表記

| 表記 | 情報のタイプ |
|--------------------|--------|
| [dec] | 10 進整数 |
| [chars] または [char] | 文字列 |
| [hex] | 16 進整数 |
| [num] | 番号 |

システム エラー メッセージの例

次に、システム エラー メッセージの例を示します。

エラー メッセージ LINK-2-BADVCALL: Interface [chars], undefined entry point

エラー メッセージによっては、エラーを通知しているカードおよびスロットを示すものがあります。このようなエラー メッセージの構造は、次のとおりです。

カード- 重大度-MSG: スロット ファシリティ- 重大度- ニーモニック: メッセージテキスト

- カードは、エラーを通知しているカードのタイプを示すコードです。
- MSG は、これがメッセージであることを示すニーモニックです。常に MSG で表されます。
- スロットは、エラーを通知しているカードのスロット番号です。SLOT に数字を付けた形で表されます (たとえば、SLOT5)。

エラー メッセージ トレースバック レポート

メッセージの中には、内部エラーが記述され、トレースバック情報が含まれているものがあります。ここから、メッセージの原因になったファンクション コールのスタック トレースが得られます。このトレースは、メッセージで通知された問題をエンジニアが特定するのに役立ちます。テクニカルサポートの担当者に問題を報告するときは、この情報を提出してください。

次に、トレースバック レポートに含まれる情報の例を示します。

-Process= "Exec", level= 0, pid= 17

-Traceback= 1A82 1AB4 6378 A072 1054 1860

例に含まれている数字は、メッセージの原因となったコードの行を示します。

